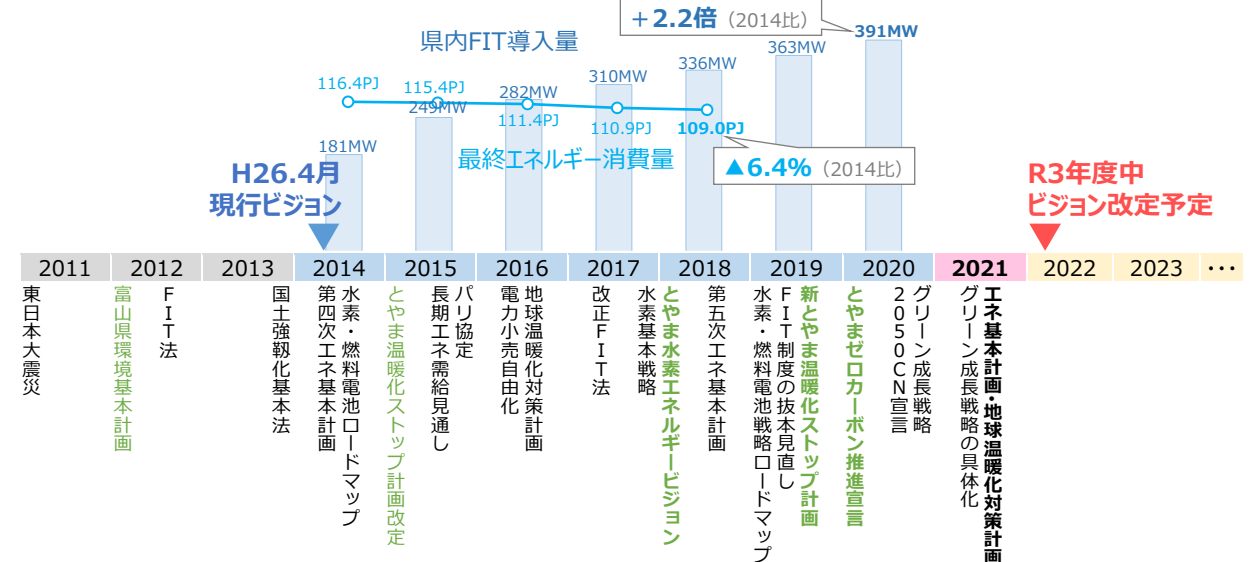


富山県再生可能エネルギービジョン（仮称）素案 <概要版>

第1章 ビジョン改定の趣旨

- 本県では、現行計画である「富山県再生可能エネルギービジョン」（計画期間：2014～2021年度）により、再生可能エネルギーの導入に取り組み、その間、「SDGs 未来都市」への選定や「とやまゼロカーボン推進宣言」を行ってきた
- また、国でも新しいCO₂削減目標を設定し、それを反映した第6次エネルギー基本計画、地球温暖化対策計画を策定した
- こうした背景を踏まえ、本県としてより一層再生可能エネルギー等の導入を図る必要がある。
- そのため、本県の再生可能エネルギーの導入ポテンシャルを調査し、それを踏まえて、再生可能エネルギーの導入目標を定めることとし、「富山県再生可能エネルギービジョン」を改定する
- なお、本ビジョンの計画期間は、2022（令和4）年度～2030（令和12）年度に設定

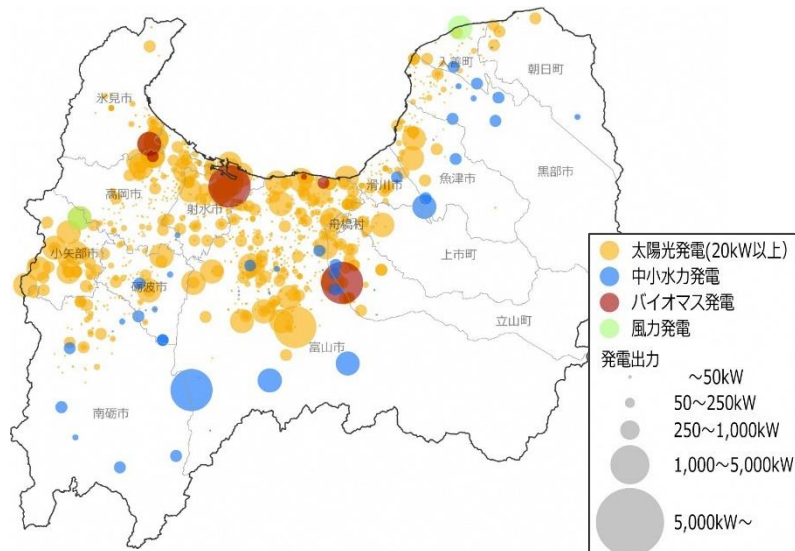


第2章 エネルギーを取り巻く動向

- 国際的には、先進国を中心に、CO₂排出量を2030年時点で半減・2050年時点でカーボンニュートラルが標準となっている
- 我が国も、新しい削減目標として「2030年度において2013年度から46%削減することを目指す。さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく」ことを設定し、これを踏まえ2030年度電源構成の再生可能エネルギーの比率を36～38%とする目標を示している
- このような国内外の潮流を受け、再生可能エネルギーの各種技術も進展を見せており、さらにはESG投資の拡大を受けて金融機関や投資家による気候変動への対応を求める動きが強まっており、民間にも脱炭素化に向けた取り組みが急拡大している

第3章 再生可能エネルギーの現状

- 本県における2020年度の再生可能エネルギーの発電量は10,153GWh程度と想定
- このうち、旧一般電気事業者及び県企業局による水力発電が全体の約9割を占める（ただし、旧一般電気事業者の発電分はその多くが県外に移出していると推定）
- FIT導入量も順調に増加しているものの、降雪量・曇天日が多い等の特性から太陽光発電の導入量が少なく、全国的には46番目の導入容量にとどまる
- 現行ビジョンで目標を設定した6つの重点プロジェクトに関する取組みを評価・検証した結果、目標達成、一部達成、未達成のものがあり、それぞれの課題が見てとれた



【図 FIT導入位置図（2021年3月末現在）】

第4章 エネルギー需給見通し

【エネルギー需要の見通し】

- 本県のエネルギー需要量は、2018年度は109.0PJ（うち電力1/3、熱2/3）と推計
 - 特段対策を取らずに推移（BAU ケース）した場合、2030年度は112.8PJと推計
 - 削減対策を見込んだ2030年度のエネルギー需要の見通しは、2013年度比76%、2018年度比81%となる88.3PJ（うち電力需要32.2PJ、熱需要56.1PJ）と推計※
- ※）BAU ケースからエネルギー基本計画に示された国施策に伴う削減量を見込んで算定



【図 2030年度の県内のエネルギー需要の見通し】

【再生可能エネルギー供給量の見通し】

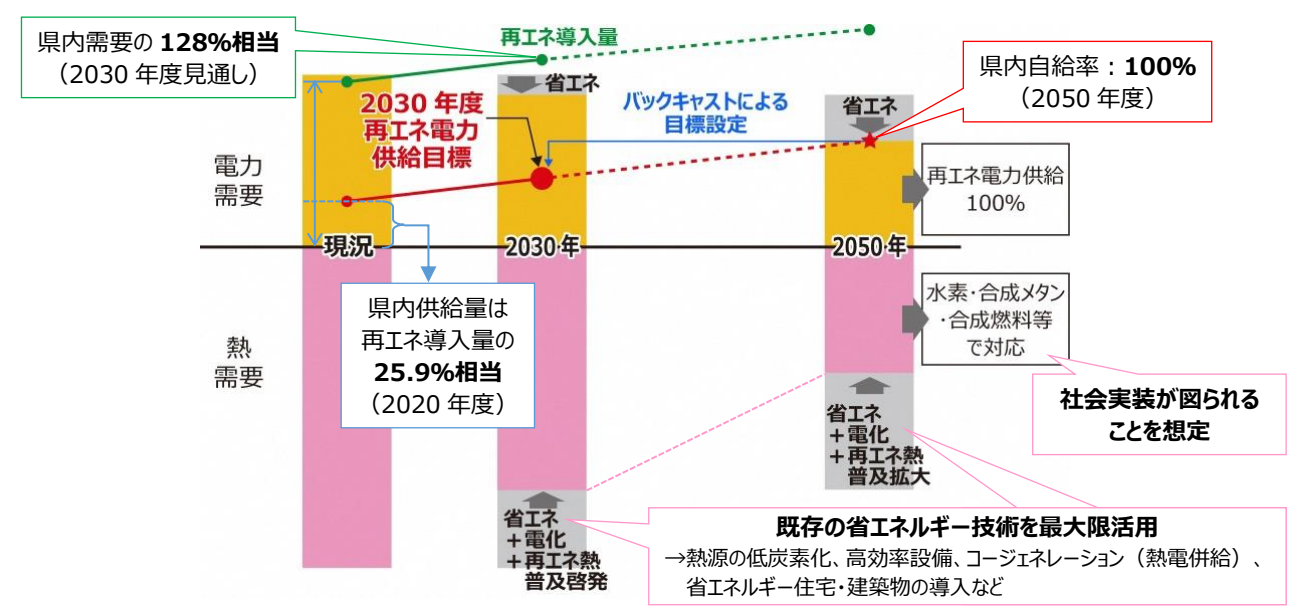
- 再生可能エネルギーの導入ポテンシャルは右表に示すとおり
 - エネルギー種別では太陽光発電のポテンシャルが高く、全国と比較すると中小水力のポテンシャルが高い
 - 2030年度までの再生可能エネルギー導入量は11,448GWh（41,213TJ）と推計※
- ※）FITの導入実績に基づくトレンド推計や発電事業者、企業の自家消費の進展、把握している個別プロジェクト等から推計
- なお、2020年度の県内供給量は、県内発電量10,153GWhの25.9%に相当する2,626GWh（9,454TJ）と推計

【表 再生可能エネルギーの導入ポテンシャル】

エネルギー種別	導入ポテンシャル	都道府県順位
太陽光発電	住宅用等 2,679.3 MW 公共系 37,654.1 MW	32位 25位
中小水力発電	河川 578.2 MW 農業用水 41.2 MW	5位 3位
風力発電	陸上風力 345.8 MW 洋上風力 571.0 MW	25位 ---
地熱発電	蒸気フラッシュ 1.8 MW バイナリ 0.1 MW 低温バイナリ 1.5 MW	18位 18位 25位
木質バイオマス発電	26.8 MW	---
太陽熱利用	5,927 TJ	23位
地中熱利用	87,214 TJ	35位
木質バイオマス熱利用	1,014 TJ	---

【2030年に向けたシナリオ】

- 2030年度までの再エネ発電の導入見通しは41,213TJとなり、2030年度の電力需要（32,172TJ）の128%相当
- 一方、2020年度の県内供給量は、発電量の25.9%に相当する9,454TJ程度と推計
- 2030年に向けては、徹底した省エネルギーによるエネルギー消費効率の改善に加え、再生可能エネルギーを更に導入し、2050年の県内の電力需要全てを県内への供給量で賄うことを目指す



【図 2050年を見据えた2030年のシナリオの概念図】

第5章 再生可能エネルギー等の導入目標等

【基本方向】

- 県内での 2050 年カーボンニュートラルの実現を見据え、2030 年度に向けては「**脱炭素社会実現**」に加えて「**産業活性化**」「**地域活性化**」「**防災力強化**」の同時達成を目指すこととし（4つの柱）、県民・事業者・行政が一体となって取り組む

【数値目標】

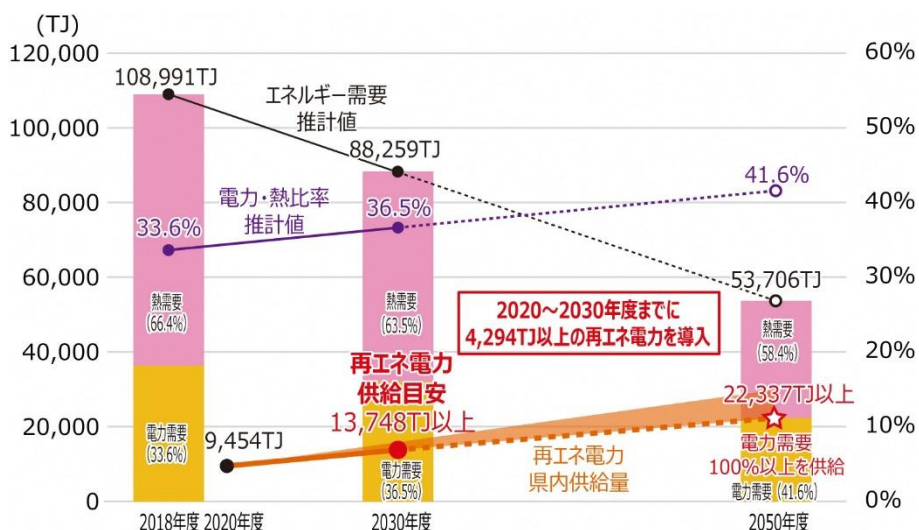
2030 年度までに導入する再生可能エネルギーの目標 **4,593TJ** (1,275,957MWh)

（再エネ導入目標を算出するため、2030 年度のエネルギー消費量の推計値を 88,259TJ（2013 年度比 24.1%削減）と推計…エネルギー基本計画に示された削減量を、関連する富山県の指標で按分し、理論値として算出）

再エネ導入目標の考え方：2050 年度に想定される電力需要量以上の電力量を、現在の県内供給量と新たに導入する再生可能エネルギーにより賅うこと目指し、バックキャストにより 2030 年度目標を設定

【表 再エネ種別目標】

	設備容量 (MW)	想定発電量 (MWh)
太陽光発電 (10kW未満)	61.0	73,207
太陽光発電 (10kW以上)	495.0	654,766
水力発電	6.0	31,536
陸上風力発電	35.0	76,037
洋上風力発電	7.5	16,294
地熱発電	10.0	59,000
バイオマス発電	52.1	365,117
合計	---	1,275,957



【図 2030 年度の再生可能エネルギー導入目標の考え方】

再エネ種別目標の考え方：太陽光（10kW未満）= FIT 導入量のトレンド推計×1.3倍 / 太陽光（10kW以上）= FIT 導入量のトレンド推計 + 公共・企業の導入を想定 / 水力発電 = 小水力発電所の整備を想定 / 陸上風力発電 = 既存プロジェクト + 他所での導入を想定 / 洋上風力発電 = 既存プロジェクトを想定 / 地熱発電 = 発電所整備を想定 / バイオマス発電 = 既存プロジェクト + 小型バイオマス発電設備を想定

第6章 アクションプランと重点プロジェクト

【各主体の主な取組み】

- 県、市町村、事業者及び県民は、脱炭素社会実現と産業・地域活性化や防災力強化の同時達成に向け、基本的な役割分担を認識した上で相互に連携して取組みを推進

主体	主な取組み
県の主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能エネルギーの導入推進につながる施策の総合的・分野横断的な実施 ● 県自らの率先導入 ● 市町村への支援 ● 県民・事業者による再生可能エネルギー導入の促進
市町村の主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能エネルギーに関する総合的・計画的な施策の策定 ● 市町村自らの率先導入 ● 再生可能エネルギーを活用したまちづくりの推進 ● 住民による再生可能エネルギー導入の促進
事業者の主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能エネルギーの積極的な導入 ● 省エネルギー等の徹底 ● 研究開発や新規事業への参入 ● 社会的存在であることを踏まえた取組み
県民の主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能エネルギーや省エネルギーの意義や導入効果の理解 ● 省エネルギーの徹底 ● 再生可能エネルギーの積極的な導入 ● 再生可能エネルギーを活用したまちづくりへの参画

第6章 アクションプランと重点プロジェクト

【アクションプラン】

脱炭素社会実現

再生可能エネルギーの最大限導入

- 再生可能エネルギーの導入
- 多様な導入形態の普及
- 新たな手法による再生可能エネルギーの導入
- 再生可能エネルギーの利用方法の柔軟性向上

- …公共施設等への率先導入、県民事業者等の導入促進 など
- …PPA 事業の促進、再エネ電気等の活用促進
- …ソーラーシェアリングや洋上風力発電の促進 など
- …蓄電池、V2Hの導入促進、P2Gの調査研究

省エネルギーの推進

- エネルギー使用量の把握・管理
- 高効率・省エネ性能の高い設備等の積極的導入
- 意識・行動の変容
- 物流の効率化促進

- …省エネ診断、中小企業の脱炭素化促進 など
- …ZEB・ZEH・断熱改修の促進 など
- …クールビズ・ウォームビズ等の推進 など
- …モーダルシフト・輸送網集約・貨客混載の促進

産業活性化

経済と環境の好循環に向けての挑戦

- 再生可能エネルギー等関連産業の振興
- 持続可能な地域の形成
- 次世代エネルギーの導入
- 海運のグリーン化に対応した港湾地域の形成
- 農林漁業のグリーン化
- 新たな交通体系の構築

- …グリーン成長戦略分野への参入促進等
- …スマートコミュニティ等の形成促進
- …水素・アンモニア等のサプライチェーン構築推進
- …船舶への陸上電力供給推進 など
- …農業機械・林業機械・漁船等の電動化調査・研究
- …次世代自動車の普及、インフラ整備促進 など

地域活性化

地域貢献型再生可能エネルギーの導入

- 地域参画
- 地元資金の活用
- エネルギー地産地消の取り組み推進

- …自治体等による再エネ導入事業の参入促進 など
- …地域ファンド等の組成促進
- …地域新電力の活用促進

防災力強化

地域のレジリエンスの強化

- 自立分散型電源の導入
- 災害時のエネルギーセキュリティの強化

- …防災拠点等への再エネ導入促進 など
- …マイクログリッドの導入検討 など

注) アンダーラインは重点プロジェクトに関連

【重点プロジェクト】

